



～室蘭開発建設部の営業カバンの中味～

競争力のある地域経済の実現

国の方針



むろけんの任務

「北海道総合開発計画」は、北海道の資源・特性を活かして、食料供給力の強化、食にかかわる産業の高付加価値化・競争力の強化、魅力ある観光地づくり、成長する産業群の形成など、活力ある地域経済を確立する取組みを行うこととしています。

室蘭開発建設部では、食料供給力の強化や、地域経済を支える交通ネットワークの形成のため、「農業基盤」「漁港施設」「国道」の整備など、農業・漁業・観光などの産業競争力強化に貢献する社会資本整備事業を行っています。

かんがい排水事業により、

生産性を向上させ農業経営を強化します

～安平川地区(安平町)～



安平川地区

胆振管内安平町の農地は、安定的な用水確保が難しく、しばしば干ばつ被害に見舞われています。このため室蘭開発建設部は、町内の水田185ha、畑1,246haを対象に水田・畑地の用水施設整備や農地の浸水被害を防ぎ水はけを良くするための排水路整備を行っています。

この事業により、生産性の向上や安定した供給、品質の向上を可能とし、地域経済の根幹である農業の強化・安定化を図ります。

事業の効果

水田・畑地用水の安定供給

◆降雨に依存していた畑地に、用水を安定的に供給することができます。これにより干ばつによる農作物の減収を防ぎ、生産性の向上・安定供給、品質を向上させることができます。

◆稲は気温が低下すると、生育が遅れ生産量が減少します。それを避けるため、田んぼの水面を上昇させ水温で稲穂を保温し、生産量の安定化を図ります。

◆必要な用水を確保することにより、大型作業機械が一度に行う代かき※面積が増え作業時間が短縮されるため、適期に田植えを行うことができ、良食味米を生産することが可能となります。

※「代かき」とは、田に水を入れてから土をかき混ぜ、田を整えることです。これにより、水田の水漏れを防ぎ、田植えが容易になります。

障害となる水の排除

◆排水路の整備により、農作物の生育に支障を来す過剰な水を除き、洪水時には水を迅速に排除して浸水被害を避けることができます。



畑における用水の安定供給のイメージ図

水産基盤整備事業により、安全な水産物を安定供給します

整備の目的は？

漁港の良好な衛生管理を図ること等により、新鮮で安全な水産物の安定的供給を支えます。

事業の整備効果は？

■防波堤の整備
漁港の主要構造物の1つです。荒天時でも港内が穏やかになり、漁船の安全な係留が可能となり、安定的に水産物の水揚げができます。

■沖合人工島の整備
追直漁港で平成24年度供用開始を目指し事業を進めています。完成後は、ホタテ・クロソイの養殖基地や景観ポイントとしても期待されています。



■屋根付き岸壁の整備
登別漁港、追直漁港、様似漁港で整備されています。鳥の糞や直射日光・雨水を防ぎ、水揚げする魚の鮮度を保持します。

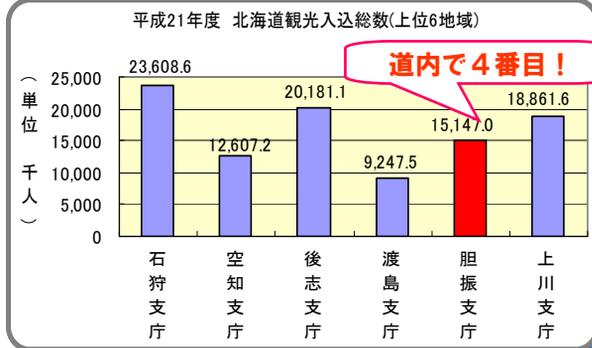


胆振地方の観光に貢献しています

国道や高速道路などによる広域的な道路ネットワークは、観光地への快適なアクセスを可能とし、観光産業の発展を支えています。

R36登別拡幅

拡幅整備によって、登別市東町交差点(温泉街・登別東ICへの分岐点)の渋滞が解消されています。交通の定時性・安全性の向上を図り登別温泉等の観光拠点地域を支援しています。



出典: 北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査」



R230

道央道虻田洞爺湖ICから洞爺湖温泉街等への安全で快適なアクセスを可能にしています。



観光事業者の声

- ・国道230号と高速道路のICが接続することにより、ICから洞爺湖温泉街まで約5分で来ていただけるため、**大変効果を感じる。**
- ・お客様だけでなく、無くてはならない**仕入れや配達の足としても、安全な道路を実感している。**

R37白鳥大橋

洞爺湖・登別温泉という胆振地域の2大観光地と室蘭市との間の新たな観光ルートの形成に役立っています。また、新しい室蘭の魅力として注目されている**「夜景観光」**の一翼を担っています。



～ 編集にあたって～

当部で行っている「事業理解者倍増計画」の一つとして発行している「むろけんRUN」の今回のテーマは「競争力ある地域経済の実現」です。グローバル化の中で、地域が生き残っていくためには、世界に通用する競争力のある地域経済の形成が必要です。北海道開発局は、地域経済の競争力を高める様々な事業を行っており、今回はそうした事業の一端を紹介させていただきます。

【発行・編集責任者】

北海道開発局室蘭開発建設部
 広報官 0143-25-7051
 地域振興対策官 0143-25-7053
 〒051-8524 室蘭市入江町1番地14
 <室蘭開発建設部ホームページ>
 →<http://www.mr.hkd.mlit.go.jp/>